

天声人語

×、×、×、×、×、×。沖縄県の米軍嘉手納基地で多くの事件に憤った住民たちが赤や黒のビニールテープで基地フェンスに貼り付けた抗議の印である。

基地は容疑者の勤務先だった▼被害女性の住まいは基地から東へ車で10分、金武湾を見下ろす高台にある。真新しいアパートの外壁に、シーサーが掲げられている。沖縄の家々に見られる魔よけの獅子だ。女性はここで交際中の男性と結婚を前提に暮らしていた▼遺体はそこから北へ車で30分、米軍キャンプ・ハンセンに近い雑木林で見つかった。花束が供えられ、警察官が遺留品を捜している▼現場は県道104号のすぐわき。米軍が1997年まで「県道越え実弾砲撃」演習をしたあたりだ。演習は本土へ移転されましたが、一帯は米海兵隊の訓練の場として使われている。ここを選んだのは容疑者に土地勘があったのか。海兵隊に属した時期、通った道なのかもしれない▼きのうは名護市内の斎場で、被害女性の告別式が営まれた。「20歳の娘がこのような形になってしまい、ただただ残念でなりません。無事に生きて帰ってくる事だけを考えていたので今は何も言えません」。

遺族は前日そんな談話を出した▼人生が20歳で絶たれるなど、だれに想像できよう。高校を卒業し、就職もし、成人式をへて、次はきっと結婚を夢見ていたことだらう。まさに開こうとする花が一夜で無残にも踏みにじられた。怒りが胸にこみあげ、×の列を指でなぞった。